



21 February 2023

リリースノート

AtomOS Lite 10.04.00

ZATO CONNECT

重要：

Atomos Cloud Studio から Frame.io サービスにアクセスする前に、ZATO CONNECT がインターネットに接続されていること、タイムゾーンが現在地に対して適切に設定されていることをご確認ください。

ZATO CONNECT を使用していて問題が発生した場合は、support@atomos.com までご連絡ください。

インストールに関する注意事項：

ATOMOS では ZATO CONNECT を USB-C 20W 電源アダプタに接続するか、新しく充電したバッテリーに接続しファームウェアのアップデートを行うことを推奨しています。

1. PC や ZATO CONNECT で SD カードを exFAT 形式でフォーマットします。対応する SD カードの詳細は <https://atomos.zendesk.com/hc/en-us/articles/5297654113935-Recording-Compatible-SD-Cards> からご確認ください。
2. AtomOS Lite の最新版を <https://www.atomos.com/product-support?product=zato-connect> から、ダウンロードします。
3. 圧縮されたファイルを解凍し、.bin ファイルを SD カードのルートディレクトリに移動します。
4. ZATO CONNECT の電源がオフになっていることを確認します。
5. ZATO CONNECT の SD カードスロットに SD カードを挿入します。
6. 完全に充電されたバッテリーまたは、USB PD 電源アダプタを ZATO CONNECT に接続します。
7. 電源を押して起動します。
8. ZATO CONNECT はいくつかのアップデート画面を経て、最初は Atomos ロゴが表示されます。
9. デバイスはアップロード中に数回再起動し、インストールが完了すると再起動します。
10. 再起動後、このリリースで導入された新機能の詳細を説明するウェルカムメッセージが表示されます。

注意：ZATO CONNECT を AtomOS Lite 10.04.00 にアップデートした後、何らかの問題が発生した場合は、一般タブ内の Device より「Unpair ACS (Atomos Cloud Studio との接続解除)、及び「Reset Device (デバイスのリセット)」を実行し、以前の設定を全て消去してください。

新機能：

Frame.io-CAMERA TO CLOUD(C2C) に対応

H.264 で録画したファイルを Adobe が提供する Frame.io サービスにアップロードし、リアルタイムで遠隔コラボレーションが可能

運用上の注意点・制限事項

- ・ ZATO CONNECT は、720p 及び 1080p の解像度、最大フレームレート 60fps の信号を出力できる HDMI 及び USB UVC ソースに対応しています。
- ・ ブランド名やウォーターマークが入ったコンテンツを配信する場合、オーバーレイメニューからアルファ透過の PNG オーバーレイを録画ファイルに適用することができます。
- ・ ZATO CONNECT で録画したファイルにはカメラのメタデータは含まれません。
- ・ C2C のファイルアップロードは、現在のところ、H.264LQ 記録モード (5Mb/s) のみとなります。
- ・ ZATO CONNECT の録画は、タイムコードやその他のトリガー方式で外部機器からトリガーすることはできません。録画の開始 / 停止は ZATO CONNECT の録画ボタンからしか行えません。
- ・ ZATO CONNECT はインターレース入力信号に対応していません。

設定手順 -ACS と Frame.io の接続

ZATO CONNECT と Atomos Cloud Studio をペアリング

1. ZATO CONNECT を Wi-Fi または Ethernet でインターネットに接続します。
2. 「Date & Time」メニューを選択し、お住まいの地域に会うように設定します。NTP 経由で自動的に時刻と日付が設定されます。こうすることで、Frame.io にファイルを正しく転送することができます。
3. atomos.cloud で新しいアカウントを作成するか、既存の Atomos Cloud Studio アカウントにログインします。
4. アカウントに新しいデバイスを追加するため、「Pair」を押した後に CONNECT メニューに表示される 3 つの単語を入力します。ZATO CONNECT にニックネームをつけてペアリング完了です。

注意：以前に Zato CONNECT をストリーミング用のアカウントに追加している場合、Atomos Cloud studio に再度追加または再ペアリングする必要はありません。

Frame.ioC2C プロジェクトとの連携

1. Atomos Cloud Studio で Frame.io を保存先として選択します。
2. Frame.io のアカウントにログインするよう促されますので、ログイン情報を入力します。
3. 次のダイアログで、Atomos Cloud Studio と Frame.io との連携を許可します。
4. Atomos Cloud Studio アカウントが Frame.io とのペアリングを完了すると、ACS の Device タブに自動的にリダイレクトされます。
5. ペアリングが完了すると、デバイスのメディア保存先として Frame.io プロジェクトが選択可能です。
6. Atomos Cloud Studio のデバイスカードの下部に Frame.io が表示されます。
トグルスイッチを ON にして、選択した Frame.io プロジェクトとの接続を確立します。
7. 新しいブラウザウィンドウで Frame.io アカウントにログインします。プロキシファイルが送信され、個々のフォルダに保存されることを確認します。

8. ZATO の CONNECT メニューを見ると、Device モードが Frame.ioC2C であることがわかります。また、選択した Frame.io プロジェクトが Destination の下に表示されます。
9. **オプション**：Frame.io プロジェクト内で、” C2C Connections” タブに移動し、識別しやすいように、Atomos Cloud Studio で付けたニックネームと一致するように名称変更することをお勧めします。
10. ZATO がプロジェクトにリンクされると、録画されたファイルは自動的に Frame.io に転送されます。
11. 録画停止後、画面左上の緑色の矢印が表示され、Frame.io にファイルがアップロードされていることを示します。アップロード完了後、緑色の丸いアイコンが表示され、アイドル状態であることを示します。
12. 一度選択したプロジェクトにファイルが入れば、Frame.io プロジェクト内の他のファイルと同様に、移動、コピー、注釈、共有が可能です。

注：Frame.io Camera to Cloud を映像制作に活用する方法の詳細については、frame.io/c2c を参照するか、[Frame.io/c2c-training](https://frame.io/c2c-training) で Frame.io トレーニングシリーズをご覧ください。

注：H.264 MQ、HQ、XQ モードで録画できる完全オフラインワークフローで ZATO CONNECT の使用をしたい場合は、Atomos Cloud Studio の Frame.io トグルボタンのチェックを外して C2C プロジェクトとの接続を解除してください。

バグ修正と全体の改善：

- Zato CONNECT が YouTube へのストリームを安定して行えない問題を解決しました。
- 再生ボタンを押してファイルブラウザを表示すると、HDMI/USB UVC の受信がバックグラウンドで非表示にならないため、ファイルのアップロード状況を確認することができるようになりました。

既知の制限事項：

- SD カード内のファイルを再生 (PiP または通常再生) している場合、録画ボタンは無効となります。
- AtomX CAST の USB UVC 出力が、ZATO CONNECT では検出されません。
CAST の HDMI PGM Out ポート経由で Zato CONNECT に接続することをお勧めします。
この問題は ATEM mini スイッチャーなど他の機器でも発生しますので、HDMI 経由で Zato に接続することをお勧めします。
- 720p のソースで ZATO に接続することは、現時点ではお勧めできません。
PiP 信号、メイン入力信号ともに 1080p の解像度で接続することを推奨します。
- H.264 のプリセット LQ、MQ、HQ で録画したファイルは、再生モードでは滑らかに表示されないことがあります。しかし、ストリーミングや HDMI/USB 出力では、滑らかに表示されます。